

一般質問

■空き家対策について

空き家対策をしっかりと！

質

平成30年6月議会で、「空き家対策の特別措置法だけでは不十分。市民からの情報提供などを定めた条例を制定すべきだ。」と訴えた。半年後の平成30年12月に条例が制定されたわけだが、適切に運用されているか次の3点について伺う。

- ①これまで何件の情報提供があったか。
- ②その情報に対して、どういった対応をしたのか。
- ③空き家等対策協議会はしっかりと機能していたか。

答

①条例施行後、管理不全な状態にある空き家について、相談を含む情報提供は55件あった。

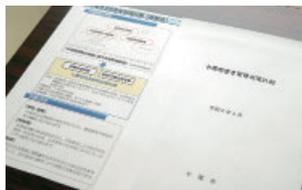
②そうした情報に対して、建物の管理者を特定できたものから、空き家の現状の写真を同封し、適切な管理を行っていただくよう、補助制度の案内と合わせて文書で指導している。55件のうち、53件については所有者を特定し、39件が既に解決済み。補助制度の利用も36件あった。

③空き家等対策協議会の主な活動実績

第1回	R 1.8	七尾市空き家等対策計画の骨格案について協議
第2回	R 1.11	特定空き家の状況と今後の措置、特定空き家候補について協議
第3回	R 2.2	七尾市空き家等対策計画の策定、行政代執行による除却予定物件の協議



山添 和良 議員 (無会派)



空き家等対策計画

一般質問

■駅前商業施設パトリアについて

テナント誘致の状況は？

質

市民の関心が高いパトリアのテナント誘致の進捗状況について伺う。

ドン・キホーテとは現在も交渉継続中であり、また出店決定は8店舗ということだが、全体のテナント部分は、8店舗を除いたスペースはどれほど残っているのか伺う。

また、鵬学園が2階に出店することが白紙となったということだが、9月会議で追加補正予算を可決した経緯がある。今後の2階のあり方について伺う。

答

1階のキーテナントは現在協議中である。全体のテナント状況は、入店希望の専門店が23社あり、そのうち8社が使用許可申請済みである。残り15社についても鋭意入店交渉を続ける。

23社が入店した場合、1階は専門店部分で1階の3分の1が埋まり、3階については事務所系テナントで約半分が埋まると想定している。2階については未定である。クッキング広場は、2階での計画を変更し、1階のキーテナントとの相乗効果を狙って、1階に配置する。



木下 敬夫 議員 (無会派)



パトリア

パトリアの状況

3階	事務所系テナント	・約半分埋まると想定
	キーテナント	・未定
2階	専門店 (クッキング広場)	・未定
		・1階へ計画変更
1階	キーテナント	・協議中
	専門店	・1階の1/3埋まると想定
	クッキング広場	・2階から1階へ計画変更

